

第二世代交付金 事業シート

第 2 回八戸市総合計画等推進市民委員会

令和 8 年 7 月 30 日

八 戸 市

事業シート目次

No. 1	いきいきとしたデジタル社会推進事業	P 3
No. 2	産学官連携による八戸未来創造事業	P 6
No. 3	未来へつなぐ！はちのへ若者定着推進事業	P 9
No. 4	市営魚菜小売市場を核とした官民連携による個性あふれる商店街の形成と水産業の振興	P12
No. 5	旧柏崎小学校跡地広場（仮称）を新たな観光資源とした中心市街地の賑わい創出と八戸三社大祭の振興・伝承事業	P14

事業シートの見方

No.○ □□□□□事業

1. 事業概要

担当部署：△△△△課

目 的	※本事業の目的を記載しております。
事業期間	令和〇〇年度～令和〇年度（〇年間）
令和7年度実績額	総事業費：〇〇〇〇千円（うち国費：〇〇〇〇千円） ※千円以下は切り捨て
交付金事業の取組及び実績	【過去の取り組み】 ※別紙資料2 参照 【令和7年度の取組】 ※本事業に関する取組及び実績を記載しております。 ※千円以下は四捨五入
K P I	※別紙資料2 参照
担当部署評価	※担当部署において、凡例を基に5段階の評価をしています。 ☐①地方創生に非常に効果的であった ☐②地方創生に相当程度効果があった ☐③地方創生に効果があった ☐④地方創生に対して効果がなかった ☐⑤効果の有無はまだわからない
担当部署評価理由	※上記の評価をした理由を記載しております。

2. 委員による評価

本事業の実施による、地方創生への効果について御判断していただきます。

- ☐ ① 地方創生に非常に効果的であった
- ☐ ② 地方創生に相当程度効果があった
- ☐ ③ 地方創生に効果があった
- ☐ ④ 地方創生に対して効果がなかった
- ☐ ⑤ 効果の有無はまだわからない

委員メモ欄

〈評価の凡例：選択肢〉

①	地方創生に非常に効果的であった	例：全ての KPI が目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
②	地方創生に相当程度効果があった	例：一部の KPI が目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
③	地方創生に効果があった	例：KPI 達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
④	地方創生に対して効果がなかった	例：KPI の実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合
⑤	効果の有無はまだわからない	例：施設を整備中など、KPI の実績が出ていない場合

No.1 いきいきとしたデジタル社会推進事業

1. 事業概要

担当部署：情報政策課、総合教育センター

目 的	IT フォーラム等により、地元 IT 企業の連携強化を図り、デジタル人材の確保や地域のデジタル化に関する産学官連携を促進するとともに、八戸市児童科学館のデジタルリノベーションに向けた設計業務等を行うことにより、子どもの遊ぶ場の確保、新たな「学び」を提供する拠点づくりを目指すもの。		
事業期間	令和5年度～令和7年度（3年間）		
令和7年度実績額	総事業費：28,996 千円（うち国費：14,496 千円）		
交付金事業の取組及び実績	【過去の取組】 別紙資料2 1ページ 【令和7年度の取組】 ①地元 IT 企業の連携を深め、地域のデジタル化を図る事業【情報政策課】 概要：地元 IT 企業が一堂に会する IT フォーラムの開催やデジタルに関するワークショップの開催など地域のデジタル化への機運の醸成を図るとともに、地元 IT 事業者や中小企業、高等教育機関を対象に、デジタル化に関する認知度調査の実施やデジタル化に関するニーズと技術のマッチング等、地域のデジタル人材の育成・確保につなげていく。 R7 事業内容及び実績：		
	名称	開催日	参加者数
	はちのへITフォーラム2025	令和7年9月26日	161名
	ワークショップ（全6回）		
	ITのしごと、リアルに聞いてみる！学生×社会人のミートアップ 内容：学生と若手ITエンジニアが交流し、仕事やスキル、地域就職の魅力を共有。	令和7年7月26日	15名
	はちのへスマホサポート講習会 内容：高齢者支援スマホサポーターを育成し、実践力を養う。	令和7年8月23日	36名
	八戸アイデアソン＆ハッカソン【アイデアソン】 内容：参加者同士の交流を通じて、新たなアイデアの創出を体験する。	令和7年9月20日	24名
	八戸アイデアソン＆ハッカソン【ハッカソン】 内容：2日間チームでアプリ開発に挑戦する中で、協調性や実践力を養う。	令和7年9月27日～9月28日	27名
	Googleビジネスプロフィール活用セミナー 内容：事業者が店舗情報管理サービス等の活用について学び、集客・発信力を向上。	令和8年2月12日	42名
	満足度（%）	90%	100%

	八戸スマホサポーターによるスマホのお悩み相談会 内容：高齢者のスマホ操作体験会において、スマホサポーターのスキル向上を図る。 令和 8 年 2 月 21 日 30 名 83%
	合計 335 名 平均 94%
	事業費：6,996 千円 ②八戸市児童科学館デジタルリノベーションに係る実施設計【総合教育センター】 概要：八戸市児童科学館を STEAM 教育のラボ（＝研究所）として、プログラミングワークショップ、3D プリンタ・レーザーカッター等最新技術によるものづくり、最新プラネタリウムや宇宙・天文関連のデジタルアクティビティを体験できる施設へとリニューアルし、利用者の創造性や問題解決能力を育む。また、市内企業や地元大学との連携したブース出展等の産学官連携事業を推進するとともに、GIGA スクール構想に基づく学校教育との連動が可能な施設へと更新する。 実績：八戸市児童科学館リニューアル実施設計書（詳細設計）策定 事業費：22,000 千円
K P I	別紙資料 2 2～3 ページ参照
担当部署 評価	☐ ①地方創生に非常に効果的であった ☒ ②地方創生に相当程度効果があった ☐ ③地方創生に効果があった ☐ ④地方創生に対して効果がなかった ☐ ⑤効果の有無はまだわからない
担当部署 評価理由	● 地元 IT 企業の連携を深め、地域のデジタル化を図る事業に関する満足度が 94%という結果であった。 ● また、IT フォーラムを開催したことにより、産学官連携の基盤が強化され、地域全体でデジタル化を進める意識が高まり、ワークショップでは IT 活用方法や実践的な IT スキルの共有により、地域のデジタル人材の育成に寄与した。 ● なお、児童科学館のリニューアル後の運営は 2028 年度を予定しているため、KPI として設定しているデジタルコンテンツ利用者数に係る効果検証は、それ以降となる予定。

2. 委員による評価

本事業の実施による、地方創生への効果について御判断していただきます。

- ☐ ① 地方創生に非常に効果的であった
- ☐ ② 地方創生に相当程度効果があった
- ☐ ③ 地方創生に効果があった
- ☐ ④ 地方創生に対して効果がなかった
- ☐ ⑤ 効果の有無はまだわからない

委員メモ欄

①	地方創生に非常に効果的であった	例：全ての KPI が目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
②	地方創生に相当程度効果があった	例：一部の KPI が目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
③	地方創生に効果があった	例：KPI 達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
④	地方創生に対して効果がなかった	例：KPI の実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合
⑤	効果の有無はまだわからない	例：施設を整備中など、KPI の実績が出ていない場合

No.2 産学官連携による八戸未来創造事業

1. 事業概要

担当部署：政策推進課、産業労政課、
こども未来課

目 的	「産学官連携による八戸未来創造中長期計画」において、若者人口【15～29 歳】の増減数を中期（2025 年）に▲2,000 人まで抑制し、長期（2045 年）に増減を均衡させることを目標として定めており、当目標を達成していくために、産学官の連携を強化し、若者の地元への愛着の醸成や地元定着等に向けた取組を進め、将来的な若者人口の社会増減の均衡を図る。
事業期間	令和6年度～令和8年度（3年間）
令和7年度実績額	総事業費：33,428 千円（うち国費：15,757 千円）
交付金事業の取組及び実績	【過去の取組】 別紙資料2 4ページ 【令和7年度の取組】 ①産学官連携事業【政策推進課】 概要：2年目は、1年目で検討した「八戸産学官連携推進会議」の事務局機能強化に向けた方向性に基づき、同会議の事務局体制の整備を行う。 また、1年目のニーズ調査結果に基づき、インターンシップを希望する地元企業及び参加者に対して、長期実践型のインターンシップを実施し、若者が地元企業を知る機会を創出するとともに、地元企業における採用活動の強化に向けた取組を支援する。さらに、外国人留学生の受け入れ等を視野に取組を進める。 その他、PRイベントを開催し、高等教育機関及び市内企業の魅力向上を図る。 実績：・(株)ヴァンラーレ八戸、(株)金入、(株)近田会計事務所にて、学生計7名のインターンシップを実施 ・外国人活用セミナー開催。 ・高等教育機関・市内企業PRイベント開催。 事業費：9,849 千円（うち国費：4,925 千円） ②社内人材育成支援事業【産業労政課】 概要：八戸市内の企業を対象に経営課題の整理や見える化を図るとともに、人的資本経営の推進や経営戦略に連動した人材戦略の策定を支援することで、生産性の向上や職場環境の改善につなげ、人材が定着し持続的に成長できる魅力ある企業の拡大を目指すことを目的に、人材戦略の策定に関するセミナーの開催及び個別相談（アドバイザー派遣）、個別相談における成果の報告会を実施する。 実績：セミナー 参加企業 16 社/参加者 23 人 個別相談 4 社 成果報告会 参加企業 19 社/27 人 事業費：3,289 千円（うち国費：1,645 千円） ③クロスセクターイノベーション事業【産業労政課】 概要：デジタル技術により解決が期待される地域課題に対し、課題解決に向けた実証プロジェクトを実施したい事業者を公募し、実証プロジェクトを実施した上で事業化に向けた検証を行う。

	実績：3件の課題について事業者と担当課のマッチングを行い、実証プロジェクトを実施した。 事業費：9,915 千円（うち国費：4,000 千円） ④こどもまちなか IT 部運営事業【こども未来課】 概要：こどもが成長していく段階で、地元のことを知る機会を増やし、様々な体験を通して地元の魅力に触れてもらうことで当市への愛着や理解を促進していくため、部員となった中高生が、市中心街に設置した部室(情報発信基地)を拠点に、自由な発想と視点によって取材等を行いながら、地元の魅力に関する情報発信やこども同士が交流できる機能をもったホームページを作成する。 実績：中高生 23 名を部員に任命し、計 15 回の活動を行った。 ホームページ（R7.3.8 公開）の記事一覧に部員が作成した 17 記事を追加。また、こどもが気兼ねなく安心して過ごせる施設や様々な体験ができる場所などを集めた「こども居場所マップ」を公開。 <table border="1"> <tr> <td>記事一覧</td><td>自然・文化・食・人物など地元八戸の魅力情報 ※部員がテーマを決めて記事づくりを行う。</td></tr> <tr> <td>八戸市からこどもたちへ</td><td>悩みや困りごとの相談先、こどもの権利やこども基本法、八戸の取組など ※市が作成。</td></tr> <tr> <td>こども・わかものの意見箱</td><td>IT 部や行政への問い合わせ、意見・提案など ※誰でも書き込めるフォーム</td></tr> </table> 事業費：10,375 千円（うち国費：5,187 千円）	記事一覧	自然・文化・食・人物など地元八戸の魅力情報 ※部員がテーマを決めて記事づくりを行う。	八戸市からこどもたちへ	悩みや困りごとの相談先、こどもの権利やこども基本法、八戸の取組など ※市が作成。	こども・わかものの意見箱	IT 部や行政への問い合わせ、意見・提案など ※誰でも書き込めるフォーム
記事一覧	自然・文化・食・人物など地元八戸の魅力情報 ※部員がテーマを決めて記事づくりを行う。						
八戸市からこどもたちへ	悩みや困りごとの相談先、こどもの権利やこども基本法、八戸の取組など ※市が作成。						
こども・わかものの意見箱	IT 部や行政への問い合わせ、意見・提案など ※誰でも書き込めるフォーム						
K P I	別紙資料 2 5～6 ページ参照						
担当部署 評価	☐①地方創生に非常に効果的であった ☐②地方創生に相当程度効果があった ☒③地方創生に効果があった ☐④地方創生に対して効果がなかった ☐⑤効果の有無はまだわからない						
担当部署 評価理由	● 産学官連携事業では、インターンシップを希望する地元企業及び参加者に対して、インターンシップを実施することで、地元企業を知る機会を創出するとともに、地元企業における採用活動の強化支援を行うことができた。 ● 人的資本経営の推進のためのセミナーや成果報告会に出席した企業ならびに個別相談（アドバイザー派遣）を受けた企業において、人事制度の見直しや人事評価制度の導入等が実施され人材確保や定着に向けた取組みに寄与できた。 ● クロステックイノベーション事業については、3 件の実証事業を実施し、そのうちの 1 社は八戸市内にサテライトオフィスを設置した。 ● 公募により部員となった中高生 23 名が市内で取材活動や地元の人との交流を図りながら、地元の魅力等に関する記事をまとめ、ホームページに 17 記事を追加したほか、「こども居場所マップ」を公開し、新たな情報を発信することができた。						

2. 委員による評価

本事業の実施による、地方創生への効果について御判断していただきます。

- ☐ ① 地方創生に非常に効果的であった
- ☐ ② 地方創生に相当程度効果があった
- ☐ ③ 地方創生に効果があった
- ☐ ④ 地方創生に対して効果がなかった
- ☐ ⑤ 効果の有無はまだわからない

委員メモ欄

①	地方創生に非常に効果的であった	例：全ての KPI が目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
②	地方創生に相当程度効果があった	例：一部の KPI が目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
③	地方創生に効果があった	例：KPI 達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
④	地方創生に対して効果がなかった	例：KPI の実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとはいえないような場合
⑤	効果の有無はまだわからない	例：施設を整備中など、KPI の実績が出ていない場合

No.3 未来へつなぐ！はちのへ若者定着推進事業

1. 事業概要

担当部署：商工課、畜産林政課、
若者活躍応援課

目 的	産業フェスタ、リクルートフェア、企業学生間のマッチング・インターン支援、UIJ ターン検討者向けの取組を一連で行うことで、地元企業の認知度向上や情報発信力を強化し、地元で育った人材の地元定着や人材還流の促進を図るもの。
事業期間	令和7年度～令和9年度（3年間）
令和7年度実績額	総事業費：19,709 千円（うち国費：9,854 千円）
交付金事業の取組及び実績	【令和7年度の取組】 ①サンフェス HACHINOHE 開催支援事業【商工課、畜産林政課】 概要：市内の若年層を中心に産業都市八戸の企業の魅力を知る機会を設け、広報による周知や他イベントとの合同開催などにより、多くの人が参加できるイベントを開催する。 実績：令和7年9月28日（日）に「サンフェス HACHINOHE2025」を実施。7,708 人が来場した。 事業費：8,493 千円（うち国費：4,246 千円） ②はちのへ企業魅力発信×発見フェア【若者活躍応援課】 概要：高校生等が就職先の選択にあたって、市内企業のイメージをより明確に持てるよう、企業がつくりだす製品や磨き上げた技術等を間近で見たり触れたりできるほか、仕事体験や製作体験を通じて、企業のことをより分かりやすく知ることができる機会となる展示会（フェア）を開催する。 あわせて、就職や進路の相談・助言を求められる保護者や教職員にとっても参考となる保護者向けセミナーを開催する。 実績：出展企業 43 社 来場者 189 名 （中学生 10 名、高校生 59 名、大学・専門学生 19 名、保護者 38 名 その他 63 名） 事業費：10,000 千円（うち国費：5,000 千円） ③八戸市超帰省®応援事業【若者活躍応援課】 概要：友人や同僚を連れて地元へ帰省したり、友人等の帰省に付いて行き、友人の地元を自分の地元のように楽しむもので、友達という信頼関係を持った人を介して関係人口を創出する取組。 超帰省で来八された方に市内で体験サービスが利用できる優待クーポンを発行する「クーポン事業」、”私のすすめる八戸旅”をテーマに、特色あるモニターツアーを企画・実施し、参加者からクーポン事業に求めるサービスや体験を通じて感じた八戸市の魅力などについて、率直な御意見をいただく「超帰省お試し旅」を通じて、関係人口の創出・拡大や将来的な移住・定住の促進につなげる。 実績：「クーポン事業」利用申請件数 115 件、利用件数 27 件 「超帰省お試し旅」参加者 9 名 事業費：1,216 千円（うち国費：608 千円）

K P I	別紙資料 2 8～10 ページ参照
担当部署 評価	☐ ①地方創生に非常に効果的であった ☐ ②地方創生に相当程度効果があった ☒ ③地方創生に効果があった ☐ ④地方創生に対して効果がなかった ☐ ⑤効果の有無はまだわからない
担当部署 評価理由	● サンフェス HACHINOHE について、地元就職等の直接的な地方創生効果が現れるまでには一定の期間を要するが、他イベントとの合同開催等の工夫により多くの参加者を確保し、若年層へ市内企業の魅力を周知する良好な機会となった。 ● 43 社の市内企業の出展、高校生・大学生・保護者など合わせて 189 人の参加があり、地元企業を知る機会を提供するという一定の効果があったと認識しているが、土曜日開催に加え、学生等の任意での参加であったことから、来場者数の伸び悩みが課題と感じた。今年度は、高校生が学校行事として参加ができるように、平日午後の開催とし、高校から会場まで貸切バスによる送迎を行うなど、より多くの生徒の参加が得られるよう検討する。 ● クーポン事業の申請件数が多く、来八のきっかけとして一定の効果があったと認識しているが、申請と利用の実績に大きく差が出たことから、利用者がより使いたいと思えるような対象サービスの拡充が必要であると感じた。 今年度は、利用者がより多くの体験を選択できるよう、クーポン参加事業者を、前年の 6 事業者から 13 事業者へと増やしたほか、市のホームページや SNS によるこまめな情報発信、当市からの進学率が高い市外大学でのポスター掲示及び移住イベントでの PR を実施するとともに、新たにインターネット広告を実施するなど、事業内容の周知に取り組む。

2. 委員による評価

本事業の実施による、地方創生への効果について御判断していただきます。

- ☐ ① 地方創生に非常に効果的であった
- ☐ ② 地方創生に相当程度効果があった
- ☐ ③ 地方創生に効果があった
- ☐ ④ 地方創生に対して効果がなかった
- ☐ ⑤ 効果の有無はまだわからない

委員メモ欄

〈評価の凡例：選択肢〉

①	地方創生に非常に効果的であった	例：全ての KPI が目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
②	地方創生に相当程度効果があった	例：一部の KPI が目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
③	地方創生に効果があった	例：KPI 達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
④	地方創生に対して効果がなかった	例：KPI の実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合
⑤	効果の有無はまだわからない	例：施設を整備中など、KPI の実績が出ていない場合

No.4 市営魚菜小売市場を核とした官民連携による個性あふれる商店街の形成と水産業の振興（拠点）

1. 事業概要

担当部署：まちづくり推進課

目 的	陸奥湊駅通り地区商店街を牽引してきた代表的な施設である市営魚菜小売市場のリニューアルを通して、小売機能の再生による商店街の振興、魚食普及による水産業振興、観光機能の充実による誘客推進のそれぞれが機能し、相乗効果を生むことで地区の活性化を目指す。
事業期間	令和3年4月～令和4年11月
令和7年度実績額	－ ※総事業費：517,386千円（うち国費：258,693千円）
交付金事業の取組及び実績	【過去の取組】 別紙資料2 11ページ参照 【令和7年度の取組】 八戸市魚菜小売市場の管理・運営 概要：入居店子及び貸館スペースの施設使用料管理、 施設内の警備・清掃及び電気機械設備の維持管理等 実績：入場者数 226,896人 事業費：15,349千円（市単費） ※使用料収入 10,639千円を除く実質市負担額は約 4,710千円
K P I	別紙資料2 12～13ページ参照
担当部署評価	☐①地方創生に非常に効果的であった ☒②地方創生に相当程度効果があった ☐③地方創生に効果があった ☐④地方創生に対して効果がなかった ☐⑤効果の有無はまだわからない
担当部署評価理由	オープン後の集客力アップにより関係人口・交流人口の拡大につながった。現在、魚菜小売市場周辺ではまちづくり会社による民間市場群の再整備が進められており、令和8年1月には市場一棟がリニューアルオープンしたため、さらなる波及効果の発現が期待される。



2. 委員による評価

本事業の実施による、地方創生への効果について御判断していただきます。

- ☐ ① 地方創生に非常に効果的であった
- ☐ ② 地方創生に相当程度効果があった
- ☐ ③ 地方創生に効果があった
- ☐ ④ 地方創生に対して効果がなかった
- ☐ ⑤ 効果の有無はまだわからない

委員メモ欄

〈評価の凡例：選択肢〉

①	地方創生に非常に効果的であった	例：全ての KPI が目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
②	地方創生に相当程度効果があった	例：一部の KPI が目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
③	地方創生に効果があった	例：KPI 達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
④	地方創生に対して効果がなかった	例：KPI の実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合
⑤	効果の有無はまだわからない	例：施設を整備中など、KPI の実績が出ていない場合

No.5 旧柏崎小学校跡地広場（仮称）を新たな観光資源とした中心市街地の賑わい創出と八戸三社大祭の振興・伝承事業（拠点）

1. 事業概要

担当部署：観光課

目 的	旧柏崎小学校跡地の広場に山車を制作できる施設を整備することで、日本を代表する山車祭りである八戸三社大祭の保存・継承を図るとともに、お囃子の練習風景や山車制作の様子など、祭りにより身近に触れ合える施設として観光誘客の促進や地域住民の愛着醸成につながるものである。
事業期間	令和5年6月～令和6年3月
令和7年度実績額	－ ※総事業費：389,860千円（うち国費：194,930千円）
交付金事業の取組及び実績	【過去の取組】 別紙資料2 14ページ参照 【令和7年度の取組】 ① 山車制作展示施設における山車展示 概要：地域住民の方や帰省客などを対象に、施設に入居の6山車組による山車の展示を初めて実施。 実績：令和7年8月13日～15日 11:00～16:00 1日あたりの来場者数：1,569名（8月15日計測） ② デジタルスタンプラリー「ハチノハウォークブル」の運用 概要：令和5年度に制作したデジタルコンテンツ（山車運行動画、祭りの歴史紹介動画、周辺施設紹介動画）を活用したスタンプラリー型周遊観光コンテンツの運用開始。（運用開始日：令和7年7月17日） 実績：令和7年度延べ参加者数186名
K P I	別紙資料2 15～16ページ参照
担当部署評価	☐①地方創生に非常に効果的であった ☐②地方創生に相当程度効果があった ☐③地方創生に効果があった ☐④地方創生に対して効果がなかった ☒⑤効果の有無はまだわからない
担当部署評価理由	● 令和7年度は山車制作展示施設において、入居山車組による山車の展示が初めて行われ、多くの方が訪れた。また、デジタルスタンプラリー「ハチノハウォークブル」の運用開始となったが、施設前広場の工事も並行して行われており、当施設を活用した本格的な効果の発現は、広場供用開始予定の令和10年以降となる見込みである。



2. 委員による評価

本事業の実施による、地方創生への効果について御判断していただきます。

- ☐ ① 地方創生に非常に効果的であった
- ☐ ② 地方創生に相当程度効果があった
- ☐ ③ 地方創生に効果があった
- ☐ ④ 地方創生に対して効果がなかった
- ☐ ⑤ 効果の有無はまだわからない

委員メモ欄

〈評価の凡例：選択肢〉

①	地方創生に非常に効果的であった	例：全ての KPI が目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
②	地方創生に相当程度効果があった	例：一部の KPI が目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
③	地方創生に効果があった	例：KPI 達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
④	地方創生に対して効果がなかった	例：KPI の実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合
⑤	効果の有無はまだわからない	例：施設を整備中など、KPI の実績が出ていない場合